

SARD

FUEL PUMP HERNESS KIT

取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い上げ頂き誠に有り難うございます。

本製品は SARD フューエルポンプ専用のフューエルポンプハーネスキットです。

本製品は、出来る限り簡単に取付けが出来るように設定しておりますが、車両に装着前には必ずこの説明書をお読みになりますよう、お願いいたします。

尚、品質には万全の注意を配っておりますが、万が一、破損、不良品がございましたら、お買い上げ頂きました、代理店・販売店にお申し付け下さるよう、お願い致します。

お取り扱いについてのご注意

警告

- ・この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷に至る結果となりえる可能性のある危険の状態を示す

注意

- ・この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示す

注意

- ・取り付け作業を行う前に本説明書を熟読し、内容を理解した上で、取り付け作業を行ってください。
- ・取り付け作業は、専門の教育を受けた整備士が設備の整った場所で行ってください。
- ・製品を装着前及び装着の際に落としたり、強い衝撃を与えたり、取り付け時に無理な力を加えると、装着不良の原因となりますので注意してください。
- ・純正品と弊社製品では作業手順や方法が異なる場合があります、特殊工具が必要になる事もあります。その場合は「自動車メーカー指定の作業手順」を読み、本書に記載されている取り付け要領もよく読んで理解してから作業してください。
- ・この製品は日本国内での使用を目的に設計されたものですので、海外ではご使用にならないように御注意ください。
- ・取り付け作業は、必ずバッテリーマイナス端子を外した状態で行ってください。通電したままの作業は、周辺機器破損やショートによる災害を招く原因となります。

警告

- ・燃料を扱う作業の為、周囲に火気のある場所では作業を行わないで下さい。火災の起こる可能性があります。
- ・お客様ご本人又は第三者の方が、この製品及び付属品の誤った使い方やその使用中に生じた故障、事故、その他の不具合によって受けられた損害については、弊社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- ・エンジンを始動させる時は、ギヤをニュートラル又は P レンジにし、各部干渉等エンジンルーム内の安全を確認した上で行ってください。
- ・自動車の安全な整備はドライバーの法定責任です。定期点検整備は安全性と公害防止を図る上で必要不可欠です。日常の点検はもとより定期点検や定期交換部品は必ず実施してください。

● パーツリスト

NO	品名	外観	数量	NO	品名	外観	数量
A	電源ハーネス (ヒューズホルダ付き)		1	G	丸端子 Φ4		1
B	リレーハーネス		1	H	丸端子 Φ5		1
C	ポンプハーネス (アース用2.3m)		1	I	ミニシール、 収縮チューブ		各 4
D	ポンプハーネス (タンク内用0.5m)		1	J	平端子		1
E	4極リレー		1	K	コルゲートチューブ (6.5m)		1
F	スプライス		2	L	取扱説明書	本書	1

※スプライスの使用は1個ですが予備で2個になっています

【使用上のご注意】



- ① 燃料系部品の取り扱いになる為、取付けの作業する場合には、火気の近く又は、火気が発生する場所での作業は絶対にお避け下さい。
- ② ガソリンを扱いますので、換気には十分ご注意下さい。
- ③ 燃料調整のズレなどにより、エンジンの破損などを引き起こす恐れがありますので、調整には十分注意してください。これらにより引き起こされたエンジン破損等のトラブルに関して当社は一切責任を負いかねます。
- ④ 装着車両にこの商品以外の製品装置の取付けや改造を行った場合に発生する不具合に関して当社は責任を負いかねます。
- ⑤ お客様ご本人又は第三者の方が、この製品及び付属品の誤った使用やその使用途中に生じた故障、その他不具合によって受けられた損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- ⑥ 本製品は誤配線及び大きな衝撃により破損する場合があります。取付けに際しては十分ご注意下さい。
- ⑦ 本製品は12V ガソリン仕様車にのみ適合します。
- ⑧ 取付けは、必ず専門の知識を持った整備士が行って下さい。
- ⑨ フューエルシステムの配管を取外す場合は、メーカー指定の燃料残圧処理をして下さい。燃料残圧処理をしないと、燃料が飛散し大変危険です。また、燃料残圧処理後もフューエルラインに若干残圧が残る為、取外す際はウエス等で覆い、燃料の飛散を防止して下さい。

【組付け手順】

手順 1 バッテリーのマイナス端子を外す。

手順 2 フューエルポンプのタンク外側端子のアース側に
C 配線を I ミニシールで純正の配線に接続して下さい
ミニシールは収縮チューブをヒートガンなどで収縮させ絶縁を行います

手順 3 C 配線のアース線をボディアースして下さい
車両の取付け場所が塗装されている場合は塗装をはがして接続して下さい

手順 4 B リレーハーネスを取付けて下さい
リレーの固定できる位置に仮合わせして
純正のフューエルポンプ駆動配線に付属のspringsを使用し
白線を実際に取付けて下さい、ハンダ等で固定し絶縁テープを巻いて
絶縁処理を行って下さい(※4 ページを参照して下さい、1 個は予備です)
純正の駆動配線ポンプ側はポンプになるべく近い位置で切断し
ミニシールでリレーハーネスのポンプ側赤線に接続して下さい



警告

※リレーは水のかからない位置で配線して下さい

手順 5 バッテリーのプラス端子に A の電源ハーネスを接続します
バッテリー端子固定ボルト等に挟み込み確実に固定して下さい
車両に合わせて配線を行いリレーハーネスのカプラに組み合わせる長さにカットし
J の平端子を使用してカプラに組み込みます
K コルゲートチューブを使用して保護しながら車両に配線して下さい



警告

※車両に配線を通す際は動いて摩擦したり、挟み込みに注意して配線を行って下さい

手順 6 燃料タンク内側の配線を D タンク内用ハーネスと I ミニシールを使用して
フューエルポンプに接続して下さい
ポンプのタイプに合わせ G、H の端子を組み合わせ確実に固定して下さい
ポンプに端子が付属している場合はそちらを使用して下さい
ミニシールは収縮チューブをヒートガンなどで収縮させ絶縁を行います



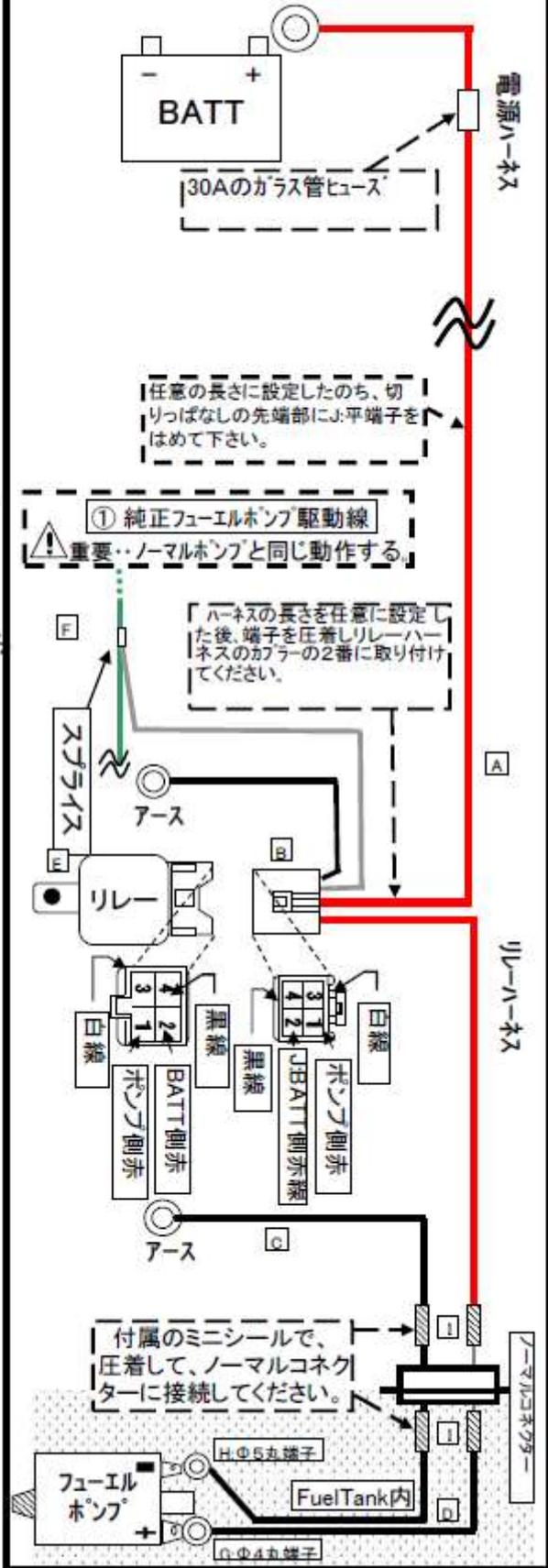
警告

※燃料タンク内の配線は必ず D の配線を使用しそれ以外の配線を流用しないで下さい
皮膜が溶損し火災になる場合があります

手順 7 K コルゲートチューブをタンク内以外の各配線に巻いて保護して下さい
リレーをリレーハーネスのカプラに取付け車体に固定します
各部の配線の挟み込みや接続不良が無いかを確認し各部を元に戻し
バッテリー端子を接続します

手順 8 エンジンを始動し燃料漏れ等が無いか、配線が異常な温度になっていないか確認する

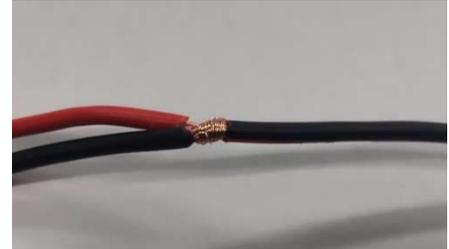
ハーネスキット配線図



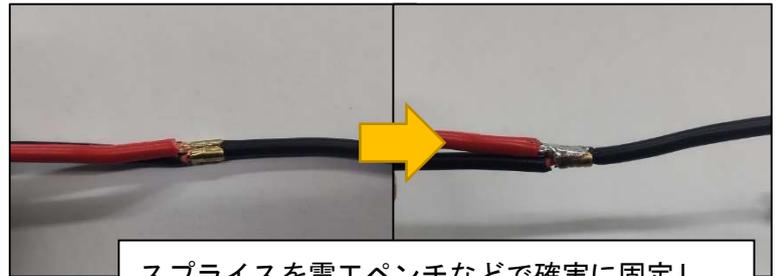
スプライスの使用方法



純正のポンプ駆動線の皮膜をはがす



銅線の部分に白線先端部分の皮膜をはがして銅線同士を巻き付ける



スプライスを電工ペンチなどで確実に固定しハンダ等で接触部分を補強する



絶縁テープ等で絶縁、保護する

SARD

〒473-0914
愛知県豊田市若林東町上外根 50

PHONE : 0565-53-1166

FAX : 0565-52-5482

58253-05162022-01